

意欲を高める



「書くのってめんどうだなあ。」

「それって、本当に書く意味あるの？」

「書くことへの意欲」を高めることは非常に重要である反面、非常に難しくもあります。書くことを好きと思う子供もいる反面、「それって、本当に書く意味あるの?」「書くのってめんどうだなあ。」と感じる子供がいることも事実です。

「~のために」「読んでもらいたい!」「伝えたい!」へ

ここで大切になるのは、やはり「目的意識」や「相手意識」です。自分が書いた文章を読んでもくれる人がいることが大切です。「書く」ことに意味をもたせるだけで、意欲が高まる子供の数が格段に増えます。「~のために」「〇〇に読んでもらいたい!」そんな「意欲の高まり」は「書く力の高まり」と考えます。

お世話になった先生方に
感謝の気持ちを伝えたい。



離任式

自分が調べたことを友達に
伝えたい。

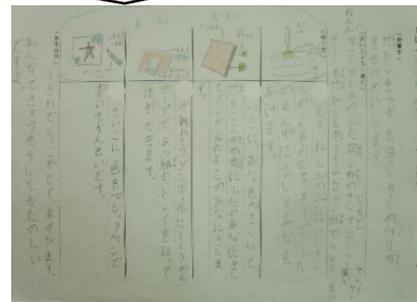


総合的な学習の時間

第3学年 「矢川たんけん」

植物や生き物を観察したり触れたりして矢川を知り、一人一人テーマを決めて調べました。モデル文を参考にしながら情報を整理し、発表しました。

1年生におもちゃの作り方を
知らせたい。



国語科

第2学年「おもちゃの作り方」

生活科の学習で作ったおもちゃを使い、1年生を招待してお祭りをします。作り方を1年生に分かりやすく伝えるために、説明を書きました。

「私って、もしかして書くのが上手になってきたかも！」

また、技能の向上が意欲を高めることにもつながるのではないかと考えています。「私って、もしかして書くのが上手になってきたかも！」と子供が思い始めたらしめたもの！技能の伸びを実感させてあげましょう。

